

平成29年管内ガス事故発生状況

<那覇産業保安監督事務所>

平成29年の事故概要

○一般ガス導管事業

(1) サンドブラストによる供給支障事故

事故発生日：平成29年11月1日(水) 23時45分頃

大学の施設より、ガスが出ないとの通報があり、調査したところ、埋設水道管から漏水があり、サンドブラスト現象でガス管内に穴が開き、そこから水が流入し灯外内管を閉塞。水取器で採水後、穴の開いたガス管を取換え、供給を開始。87世帯、4時間半の供給支障となった。

<原因>

埋設水道管から漏水があり、サンドブラスト現象で灯外内管に穴があき、そこから水が流入し、灯外内管を閉塞したことによる供給支障。

<再発防止対策>

- ① 水道管敷設時におけるガス管との適切な離隔距離の確保及び水道業者との事前協議の実施
- ② 水道管の漏水を職員、または施設担当者が発見した場合やガス臭気を感じた場合の速やかな通報をする旨の協力依頼
- ③ 老朽化した水道管の更新依頼

○ガス小売事業

(1) 他工事による供給支障事故

事故発生日：平成29年6月9日(火) 10時30分頃

他工事業者(水道関連)が補修工事の際、誤ってガス管を損傷し、ガスに着火。すぐに消火し、ガス事業者へ通報。通報を受けガス事業者が緊急出動し、現場にてバルブを一時閉止。再度ガス漏れがないことを確認後、バルブを開栓しガスを供給。全世帯(244世帯)約2時間の供給支障の事故となった。

<原因>

液化石油ガス設備士資格を有しない他工事業者の作業員が作業を行ったこと及び事前の協議もなく、単独で工事を行ったため。

<再発防止対策>

- ④ 他工事業者に対し、今後事前協議や協力するよう依頼
- ⑤ 他工事を把握するため、団地内の巡回強化
- ⑥ 施主等に対し、他工事を把握した際の協力依頼及び周知

(2) 導管工事中におけるガス圧力低下による供給支障事故

事故発生日：平成29年12月27日(水) 12時15分頃

導管工事(バルブ取付作業)でスクイズオフを行った際、圧力低下を起こし供給支障。全世帯335世帯のうち、44世帯が約2時間の供給支障の事故となった。

<原因>

スクイズオフを行った際、想定外のガス圧力低下をおこした。

<再発防止対策>

- ① 導管工事の際、圧力低下が起りうる場合を想定し、供給圧力を確信しながら作業を行う
- ② 社内で勉強会を行うほか、事故等の情報の共有化を図る